



同研究会の目的は、GDPという経済指標を超えた国民全体の幸福の新たな指標づくりです。そのためには、まずSDGsからウェルビーイングへの国際動向・国内動向を踏まえた心理学・幸福学・脳科学等の科学的知見に基づくウェルビーイング理論の整理が必要です。加えて、日本人の文化的幸福観を踏まえた学祖廣池千九郎の「人類の安心・平和・

研究の現場から

共同研究プロジェクト 「日本発ウェルビーイング教育と人類の安心・平和・幸福」

日本家庭教育学会と日本道徳教育学会の幹部が中心となって開催してきた「脳科学等の科学的知見に基づく家庭・道徳教育研究会」の研究成果を踏まえて、新たに道徳科学研究所の共同研究として、「ウェルビーイング教育研究会」を開催することになりました。

幸福論と関連づけた道徳教育・家庭教育を中心とした日本発のウェルビーイング教育理論とその発信のあり方について研究してまいります。

先日発表されたわが国の第四次教育振興基本計画の二大基本方針は、「持続可能な社会の創り手の育成」と「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」に集約されますが、今後、学習指導要領と教科書の改訂が行われます。

同基本計画について審議した中央教育審議会をリードした京都大学大学院の内田由紀子教授は、「文化的幸福」「集団的幸福」という日本独自の幸福尺度である「日本社会に根差したウェルビーイング」を提唱しています。

また、同大学院の廣井良典教授は、「鎮守の森・自然エネルギーコミュニティ構想」や「地球倫理」等について研究されています。

すが、「地球倫理」とは、地球上の各地域に存在する思想や宗教、自然観や世界観などの多様性と共通性に注目し、尊重する思想です。

第一回研究会は、両教授と共同研究をされている田中朋清石清水八幡宮権宮司をお招きし、「鎮守の森に内在する普遍的哲学を活用した国際教育改革と平和構築に向けて」について協議しました。

今後は、両教授並びに「幸福学」の第一人者である前野隆司氏（来年四月に開学する武蔵野大学ウェルビーイング学部長に就任予定）との協議を深めつつ、中山理麗澤大学特別教授からは「廣池千九郎博士の『人類の安心・平和・幸福』とウェルビーイングとの関係」について、NITTIコミュニケーション科学基礎研究所の渡邊淳司氏からは「ウェルビーイングカードを活用した道徳教育」について、発表していただく予定です。

道徳科学研究所 教授
共同研究代表者

高橋 史朗